

美術科学習指導案

令和5年1月24日(水)第5校時

1年C組 39名

指導者 安部 瞳

1 題材名 鑑賞 命名!わたしのポッティチェリ

2 題材設定の理由

(1)教材について

- ・本題材は、対話型鑑賞でポッティチェリ作『春』を鑑賞し、作品の題名を考える事を通して、絵画作品を造形的な視点で捉え、細部や全体のイメージなど捉え、主題に迫るなど、造形的な見方・考え方を深めていくものである。本作品は、中央にヴィーナスがおり、ほかの登場人物から距離をおき、背景の木々のアーチ型によりヴィーナスの神々しさを引き立たせ、鑑賞者の注目がいくように設定されている。
- ・学習者は、将来芸術作品を鑑賞する機会の方が多くなる。様々な作品を鑑賞した場合、その作品のなかにある表現の意図や工夫について、作品をじっくり見つめるなかでイメージを膨らませながら鑑賞できるように、成長してほしいと考える。また、本題材の作品は、細密な作風で多くの具体的要素が含まれており、情報を読み取りやすく、多くの発見ができる。さらに特徴的な登場人物や情景に作者の寓意が込められており、物語を想像しやすいため、中学校1年生にも適している。
- ・作品をよく観察し、題名を考えることが学習者の学習に対する意欲喚起につながると考えられる。

(2)生徒について

- ・本学級の学習者は、明るく元気がよく、授業にも意欲的に参加することができる。また、制作活動においても自身の作品をよりよいものにしていくために、時間をかけて細部にまでこだわって制作することができる。一方、鑑賞活動においては、おおまかに作品をみた感想を述べることはできている。
- ・しかし、造形的な要素に注目し作者の心情や表現の意図と工夫について触れることは苦手だと感じた。アンケートによると、作品を鑑賞したのち、感じたことを他者に表現することがあるか尋ねると、全体のうちの41%の生徒がないと答えた。このことから、比較的楽しく表現活動には取り組んでいるものの、鑑賞活動において作品に対して進んで興味をもち、より深くその素晴らしさを味わうことやイメージしたものや感じたこと、自分の考えを他者に向けて表現することに苦手意識があるようである。
- ・また、作品を見るのが好きな生徒は全体の22%と低く、表現することと鑑賞することのどちらが好きなかを比較すると、77%の生徒が表現することの方が好きだと答えた。また、休日に美術館や展覧会へ出かける生徒は47%程度だった。これは、鑑賞の授業で造形的な視点を持って作品を観る機会や作品について思いを伝える機会が不足していることが要因であると考えられる。

(3)指導について

- ・そこで、まずは作品と題名のつながりを意識させ興味をもたせながら、ポッティチェリ作『春』を鑑賞していく。まずは大型モニターを活用して鑑賞をし、作品全体に注目させ、作品の色と形、登場人物の動きに注視させていきたい。その後、個人のChromebookに画像を配布し、学習者の手元で作品の色と形、全体と細部、登場人物の動きと表情に注視させ、より深く鑑賞させていく。学習者の感じたことや意見を全体で共有しながら、作者の作品に対する工夫や心情に深く迫り、作品の題名につなげることも可能になってくると思われる。
- ・つぎに、意見を全体で共有していくことで、他者の作品に対する見方や感じ方に触れることができると考える。
- ・最後に、小集団で根拠をもって本作品の題名を考えることで、作品鑑賞では造形的な要素に注目して観ることで主題や作者の制作の工夫に迫ることができると気づかせたい。そのため、段階を追って全体から一部へと目を向けられるよう、助言指導していきたい。

3 題材の目標および評価規準

・描かれている人物の表情や装飾品、色彩など、造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風などで捉える事を理解できるようにする。 (知識及び技能)
・対話型鑑賞活動を通して、美術作品から造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げ、他者へ向けて表現することができるようにする。 (思考、判断、表現力等)
・作品から受けた印象を具体的に表現したり、なかまの意見を聞いたり鑑賞する力を高めることができるようにする。 (学びに向かう力)

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
知 描かれている人物の表情や装飾品、色彩など、造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風などで捉える事を理解している。	鑑 対話型鑑賞活動を通して、美術作品から造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げ、他者へ向けて表現している。	態鑑 作品から受けた印象を具体的に表現したり、なかまの意見を聞いたりすることで鑑賞する力を高めようとしている。

様式2 指導と評価の題材計画

時	主な学習活動・ねらい	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	評価方法
		知識	技能	発想や構想	鑑賞		
本時	○対話型鑑賞でポッティチェリの『春』を鑑賞することを通して、見方や感じ方を広げ、作品の造形的なよさや美しさを感じとり、自分なりに表現することができるようにする。	① 知			① 鑑	① 態鑑	ワークシート 行動分析

①…形成的評価。記録に残さず、学習者の達成度を確認し、授業や単元計画の調整を行うための評価。

①…総括的評価。記録に残し、成績に反映させる評価。

【努力を要する状況(C)に対する手立て】

・適宜机間支援を行い、声かけをしながら学習者の意見を鑑賞シートに引き出す。

様式3 本時の指導

- (1) 本時の位置づけ(1 / 1)
- (2) 題材名 命名!わたしのポッティチェリ
- (3) 本時のねらい

対話型鑑賞でポッティチェリの『春』を鑑賞することを通して、造形的な見方や感じ方を広げ、作品の造形的なよさや美しさを感じとり、自分なりに表現することができるようにする。

(4) 展開

時間	学習活動	学習内容及び指導上の留意点()	評価
5	1. 本時の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○美術館などで作品を鑑賞するとき、いつもどんなところに注目しているのか尋ねる。 ○作品と題名のつながりを意識させる。 ○本時の学習内容を学習者に知らせる。 ・作品鑑賞していくことを知らせる。 ・めあてを確認させる。 	
描かれているものからイメージを広げ、題名を考えよう。			
5	2. 個人で作品を鑑賞する。 ・何がみえるか、何を感じるか、なぜそう感じたのか考え記入する。 (個人)	<ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞用紙を配布する。 ○作品を大型モニターに映し、鑑賞させる。 (全体の鑑賞) ○鑑賞用紙に個人の意見を記入させる。 ○机間支援を行い、適宜声かけをしていく。 意見が出づらい生徒には声かけをしながら思いを引き出させる。 	
5	3 個人の考えを学級全体に共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな発言を引き出し、受け入れ、広げ、何を言ってもよいということを確認させる。 ①絵の中で見つけたこと ②気がついたこと ③考えたこと ④疑問 など何でもいいので話してみよう! ・何がみえる? ・何をしてる? ・何を感じる? ・どこからそう感じた(思った)? 	
8	4 細部をよく観察しながら、班で意見交換しあう。	<ul style="list-style-type: none"> ○作品をみながら、対話型鑑賞をさせる。 (細部の鑑賞) ○細部はどんな様子なのか興味をもたせる。 ○個人のCBに作品の画像を配布する。 ・あらかじめ、クラスルームにあげておく。 ・作品の全体と細部に注目させながら色と形・登場人物の動きと表情に意識を向けさせる。 さまざまな発言を引き出し、受け入れ、広げ、何を言ってもよいということを確認させる。 ①絵の中で見つけたこと ②気がついたこと ③考えたこと ④疑問 など何でもいいので話してみよう! ・何がみえる? ・何をしてる? ・何を感じる? ・どこからそう感じた(思った)? 	<p>【知・技】 描かれている人物の表情や装飾品、色彩など、造形的な特徴に注目しようとしている。</p>

10	5 班で出た意見を学級内で共有する。	<p>○作品をみながら、対話型鑑賞をさせる。 さまざまな発言を引き出し、受け入れ、広げ、何を言ってもよいということを確認させる。 ①絵の中で見つけたこと ②気がついたこと ③考えたこと ④疑問 など何でもいいので話してみよう! ・何がみえる? ・何をしてる? ・何を感じる? ・どこからそう感じた(思った)?</p> <p>○仲間の意見を聞き、考えが深まったことを感想用紙に記入する。</p>	
10	6.それぞれの意見を基に個人で題名を考える。	<p>○根拠をもとに決定した題名を考えさせる。 ○机間支援を行う。</p>	<p>【思判表】 ・根拠をもとに、自分の意見を発表することができる。</p>
7	7.ふりかえりを行う。	<p>○本時の振り返りを記入させる。 ・振り返りと題名を数名に発表させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【例】作品を鑑賞するには、ただ見るだけでなく、全体と細部に意識をもち、作者がどんな思いを込めて描いたのか考えながら鑑賞するとより考え方を広げることができる。</p> </div> <p>○作品の本当の題名を知らせる。 サンドロ・ボッティチェリ作『春(ラ プリマヴェーラ』 ・題名はほとんどの生徒は当たらないと考えられるが、当たったから良い、外れたから鑑賞が悪かった、というわけではない。決して見方が間違っているわけではないということをおさえる。 ※詳細は後日 ○本時のまとめと次回の予告。</p>	<p>【主学態】 ・作品や鑑賞に対して興味をもち、積極的に鑑賞活動・話し合い活動に参加できる。</p>

(5)「思考・判断・表現」の評価基準

B	A
鑑賞用紙に造形的なよさに着目した根拠をもとに自分の意見を記入することができる。	作品の一部と全体をみながら、色や形と表情に着目し、作者の意図や根拠をもとに自分の意見を鑑賞用紙に記入することができる。

(6) 学習記録計画

TV

黒板

【鑑賞】『命名!わたしのポッティチェリ』

めあて 描かれているものからイメージを広げ、題名を考えよう。

絵の中で見つけたこと . . .	気がついたこと . . .
考えたこと . . .	疑問 . . .

CB

鑑賞シート